

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名： 高校教育指導課
担当名： 入学者選抜・教員研修担当
内線： 6767 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P22	電子出願システム導入事業			一般会計	教育費	高等学校費	高等学校総務費	高等学校入学志願者選考費	
事業期間	令和 4年度～	根拠法令	学校教育法施行規則			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
						分野施策	0504 質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット	4-1, 4-3, 4-6
1 事業概要 入学者選抜における各学校の業務効率化や受検生及び保護者の事務手続の効率化を図るため、電子出願システムの導入を行う。 電子出願システム導入事業 入札差金による減額 △29,532千円				5 事業説明 (1) 事業内容 電子出願システム導入事業 87,871千円 ア 全県立高校・県立中学校に電子出願システムを導入 県立高等学校 電子出願による業務効率化 受検生・保護者 出願手続の効率化と簡易化 中学校 出願事務の効率化と負担軽減 イ 入学選考手数料の電子収納化 入試業務システムと連動した、電子収納による更なる効率化を検討 電子出願システムが有する決済システムでの入学選考手数料支払 (2) 事業計画 入学者選抜に係る電子出願等研究事業 ア 「入試業務システム」の研究・開発 イ 入学選考手数料の電子収納化 (3) 事業効果 ア 県立高等学校の入学者選抜事務の業務効率化 イ 受検生・保護者等の出願手続の簡易化 ウ 中学校教員等の出願指導等に係る負担軽減 エ 全県への拡大を通じて、全県統一のマニュアル化による入試事故防止の強化 【活動指標(アウトプット)】 全県立高校・中学校で電子出願システムによる入試業務とそれに連動した電子収納を実施 【成果指標(アウトカム)】 受検生・保護者等がワンストップで容易に出願手続可能 入試業務の効率化により入試事故の防止や学校における働き方改革が進展 (4) 補正予算の概要 入札差金による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人＝9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△29,532							△29,532	87,871
現計額	117,403							117,403	

事業内訳書

事業名	電子出願システム導入事業		
単位事業名	電子出願システム導入事業	予算額	△ 29,532千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△29,532	—	
合計	△29,532	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△29,532	—	入札差金が生じたことによる減
合計	△29,532	—	